

コマ番号

太政類典第一編第四拾八巻索引

1288	一 天皇首服ノ日ヲト定ス 内廷 慶應堂工 明治廿五年正月廿日	一
1291	一 御元服、節浅木袴着用ノ人々薄色奴袴 着用 明治廿五年正月廿日	二
1293	一 御元服参賀献物ノ数ヲ定ム 老若月廿日	三
1294	一 天皇首服ノ式ヲ定ム 老若月廿日	四
1299	一 同上奉文ノ女官ニ御髪ヲ賜フ 老若月廿日	五
1300	一 奉幣使正親キヲ副傍陵ニ遣シ天皇元服 老若月廿日 ヲ加ヘシテ告ラ且其遅延ヲ謝ス	六
1301	一 御拭眉當日参賀着服ヲ定ム 老若月廿日	七
1302	一 御拭眉ニ付群臣ニ御祝酒ヲ賜フ 老若月廿日	八
1303	一 天皇即位、吉辰ヲ定ム 老若月廿日	九
1304	一 同上吉辰ト定ニ依リ諸官ニ参賀セシム 老若月廿日	十
1305	一 同上當日奉幣使ヲ伊勢ニ發遣ス 老若月廿日	十一
1313	一 即位大礼ノ式古礼ニ基キ施行セシム 老若月廿日	十二
1314	一 即位大礼ノ當日諸官参朝ノ次第ヲ定ム 老若月廿日	十三
1315	一 即位大礼當日参朝諸官ノ姓名ヲ調査ス 老若月廿日	十四
1316	一 即位大礼當日諸官及宮門跡等ノ献上物 老若月廿日 ノ数ヲ定ム	十五
1319	一 即位大禮後後衛兵及公議人公用人等ニ式 老若月廿日 場ノ裝飾ヲ拝観セシム	十六
1326	一 即位大礼當日諸侯以下参賀時限及衣履 老若月廿日 ヲ定ム	十七
1330	一 御即位寺院、献上物ヲ定ム 老若月廿日	十八上
1331	一 東井日御即位日時御治定ニ付因幡ノ中上事 老若月廿日	十八下

コマ番号

1331	一 即位式概略ヲ定ム 老若月廿日	十九
1373	一 立太后冊命時日ヲ定メ参賀セシム 慶應堂工 老若月廿日	二十
1374	一 立太后宣下諸官及諸侯等参賀次第ヲ定ム 老若月廿日	二十一
1375	一 立太后宣下ニ依リ自今大宮ト奉稱セシム 老若月廿日	二十二
1376	一 女御入内及立后時日ヲ定ム 老若月廿日	二十三
1377	一 女御入内沿路ノ次第ヲ定ム 老若月廿日	二十四
1378	一 立后當日諸官及諸侯以下参賀及献物ノ 老若月廿日 次第ヲ定ム	二十五
1382	一 立后大禮後在東京諸官ノ参賀献物ノ次 老若月廿日 第ヲ定ム	二十六
1384	一 女御入内ニ付姫路藩献上物ヲ候ス 老若月廿日	二十七
1385	一 大宮新殿ニ移御ス 老若月廿日	二十八
1387	一 和宮還京奉迎使差遣ノ由ヲ心得シム 慶應堂工 老若月廿日	二十九
1388	一 後宮女官等ヲ戒諭ス 老若月廿日	三十
1389	一 今上天皇御生母曾典侍ニ從三位宣下ノ 老若月廿日 旨ヲ内諭ス	三十一
1390	一 曾典侍從三位宣下三位局ト稱シ大典侍 老若月廿日 ノ上席ニ列ス	三十二
1391	一 三位局始女房要濱殿ノ行向 老若月廿日	三十三
1392	一 久礼波以下京都ヨリ到着 老若月廿日	三十四
1393	一 皇后宣御乳人ヲ選定ス 老若月廿日	三十五
1395	一 三位局及内侍所刀目東下 老若月廿日	三十六
1401	一 聖上御檢閲ノ建言 三年閏七月	三十七
1402	一 日講筵ヲ行在所ニ開ク 三年閏四月廿日	三十八

マイクロ  
リール番号

1403	一 御前講筈ヲ聞ク	九年五月廿五日	三十九
1404	一 御廐繕古日ヲ定ム	九年九月廿五日	四十
1406	一 御前講筈漢紀ヲ講セシム	九年十月廿五日	四十一
1407	一 御駐輦中御日課	全	四十二
1408	一 水野忠私細川興實等上直ス命シテ其驛 馬ヲ試ミ物ヲ賜フ	九年五月廿五日	四十三
1412	一 御召馬拂下	三年五月	四十四
1413	一 研師ヲ命ス	三年十月廿五日	四十五
1414	一 御釵取扱所ヲ設ク	三年十月廿五日	四十六
1415	一 御衣調遣事務ヲ管内省ニ属ス	三年十月廿五日	四十七
1416	一 西京内侍所御鈴并繕ヲ調遣ス	三年五月	四十八
1417	一 光格天皇御物ノ内御帳臺ヲ燒棄ス	三年十月	四十九
1418	一 川南門次ニ御帶釵鑑定御研御用ヲ命ス	三年十月廿五日	五十
1420	一 有栖川職仁親王ニ主上御手習ノ際參勤 セシム	九年五月	五十一
1421	一 御即位ノ際職仁親王ヲ以テ左侍從ト爲 ス	九年五月廿五日	五十二
1422	一 東幸御留守中熾仁親王ニ取締ヲ命ス	三年十月廿五日	五十三
1423	一 聖養院官費去事多端ノ故ヲ以テ廢朝 ノ例ヲ用ヒザルヲ令ス	三年十月廿五日	五十四
1424	一 輪王寺准后官費去三日朝ヲ廢ス	應徳元年十月廿五日 三年十月廿五日	五十五
1425	一 主上外官末社燒失ニ依リ一日朝ヲ罷ム	三年十月廿五日	五十六

コマ番号

太政類典第一編第四十九卷索引

宮内

行幸行啓

1431	親征、旨ヲ海内ニ布告ス	四月四日	一
1432	親征行幸期日ヲ定ム	九月廿年	二上
1433	華頂宮ニ親征供奉ヲ命ス	二月廿年	二下
1434	親征供奉ノ心得方ヲ令ス	二月廿年	三
1443	阿波少将御親征ヲ止ムル建白並御東幸 供奉願	二月廿年	四
1445	親征期日、改メ東本願寺掛所ヲ以テ行 在所ト為ス	二月廿年	五
1446	親征ニ関スル浮説等ニ疑惑セテラシム	九月廿年 二月廿年	六
1447	永井尚服食封三萬二千石、家臣尚服 ノ別邑大阪行幸ノ驛路ニ係ルヲ以テ奉 迎ノ條欵ヲ稟請ス	二月廿年	七
1452	淡及構通衛ノ除牛馬等渡船ヲ用ヒシム	三月廿年	八
1453	親征ノ期日ヲ延期ス	三月廿年	九
1454	親征ノ期日及其途次ヲ定ム	三月廿年	十
1455	親征ニ関シ再ヒ上下ラシテ疑惑ナカラ シム	三月廿年	十一
1456	親征發聲ノ期ヲ急ニス	三月廿年	十二
1457	親征行幸勤番ノ輩ニ奉送セシム	三月廿年	十三
1458	親征行幸ニ関シ徹士參與ヲ下坂セシム	三月廿年	十四
1459	行幸ノ日近キニアルヲ以テ議定參與諸 候ニ令シ天機伺トシテ奉朝セシム	三月廿年	十五
1460	行幸沿道通御ノ際諸心得ヲ令ス	三月廿年	十六

マイクロ  
フィルム  
番号

1462	親征行幸發聲函簿、次芽ヲ定ム	三月廿年	十七
1475	親征行幸大阪看御禁中ニ於テ天機ヲ伺 ハシム	三月廿年	十八
1476	大宮挂宮女御及議定參與等天機伺トシ テ堂上ヲ大阪ニ使ス	四月廿年	十九
1477	大宮挂宮等使者下坂スルヲ以テ具從者 等ニ不法ノ所為ナカラシム	四月廿年	二十
1478	諸候、天機伺トシテ下坂スルモノ、供 連人復ヲ定ム	四月廿年	廿一
1479	親征行幸東本願寺掛所ニ著御	四月廿年	廿二
1481	座磨神社及東本願寺掛所行幸	四月廿年	廿三
1482	東本願寺掛所行幸	四月廿年	廿四上
1483	有栖川懺仁親王ニ親征行幸供奉ヲ命シ	四月廿年	廿四下
1484	先著セシム		
1493	薩摩始十三藩ニ兵貢ヲ先發セシム	二月廿年	廿五
1494	徳川徳成ニ親征行幸供奉後陣ヲ命ス	二月廿年	廿六
1495	紀州藩ニ行幸途次鳥羽城離宮境内ヲ守 衛セシム	三月廿年	廿七
1496	紀州以下三藩ニ令シ親征行幸ノ際城爾 離宮ヨリ淡ニ至ル沿道ノ守衛ヲ命ス	三月廿年	廿八
1497	十津川鄉士ニ親征行幸途次ノ守衛ヲ命 ス	三月廿年	廿九
1498	越前以下行幸供奉ノ各藩家士ニ令シ供 連及荷物等ノ負數ヲ録上セシム	三月廿年	三十
1499	親征行幸供奉輩ノ手當金ヲ定ム	三月廿年	三十一
1503	黒田長知ニ行幸供奉ヲ命ス	三月廿年	三十二

マイクロ  
リール番号

- 1504 一藤堂高潔ニ命シテ親征ニ扈從セシム 元禄十一年 三十三
- 1505 一相良頼基親征ノ扈從ヲ請フ許サス 元禄七年 三十四
- 1506 一池田章政初親征扈從ノ請ヲ聽ス 元禄八年 三十五
- 1509 一松平慶永疾ヲ以テ親征ノ扈蹕ヲ辭ス之ヲ聽ス 元禄十八年 三十六
- 1510 一徳川徳成幼齡ニシテ騎ニ堪ハサルヲ以テ親征發聲ニ先テ大坂ニ赴カント請フ 元禄十八年 三十七
- 1511 一島津淡路守毛利讃岐守ヲ行幸供奉ニ加ス 元禄十八年 三十八
- 1512 一興福寺學侶書ヲ行幸奉行坊城俊政ニ上リ使役ニ供センコトヲ請フ是日命シテ御服櫃ヲ護衛セシム 元禄十八年 三十九
- 1513 一渡邊章綱其封邑大阪ニ隣レルヲ以テ行在所ノ事役ニ服セント請フ是日批シテ之ヲ行在所軍防局ニ請ハシム 元禄十八年 四十
- 1515 一供奉公卿諸侯ニ行在中非常異變ノ際ノ心得方ヲ令ス 元禄十八年 四十一
- 1517 一供奉諸侯ヲ禁中ニ召シ酒饌ヲ賜フ 元禄十七年 四十二
- 1518 一副總裁岩倉具視留守ノ諸官ト議シ徳川氏ノ慶令相定ルヲ以テ辦事神山君風ヲ行在所ニ遣ヒテ選章ヲ奏請ス 元禄十七年 四十三
- 1521 一親征還幸ノ旨ヲ令シ上下ヲ戒飾ス 元禄十四年 四十四
- 1536 一大阪城内行幸 元禄十四年 四十五
- 1541 一吉川經幹疾ヲ謝シ其子經健ヲ遣ヒテ行在所ニ候シ藩屏ニ列スルノ恩ヲ謝ス 元禄十四年 四十六

マイクロ  
リール番号

- 1542 一因リテ命シテ扈蹕ニ加フ 元禄十四年 四十七
- 1543 一親征還幸ノ途次ヲ定ム 元禄十四年 四十七
- 1544 一御留守奉迎ノ衣體等ヲ定ム 元禄十四年 四十八
- 1544 一還幸後尚大坂市民ヲ安撫セシム 元禄十四年 四十九
- 1545 一還幸奉迎ノ衣體ヲ定ム 元禄十四年 五十
- 1546 一在京諸侯ノ還幸奉迎ノ衣體ヲ定ム 元禄十四年 五十一
- 1547 一親征還幸在國在邑諸侯ヲ以テ重臣ヲ以テ天機ヲ伺ハシム 元禄十四年 五十二
- 1548 一還幸者御士民儀仗ヲ拜觀ス 元禄十四年 五十三
- 1549 一垣藩留主居ヲ以テ天機ヲ伺ハシム 元禄十四年 五十四
- 1550 一金澤藩天機伺ニ関スル心得方ヲ稟定ス 元禄十四年 五十五

マイクロ  
コマ番号

大政類典第一編第五十卷索引

官内

行幸行啓

0030	一 東幸御輕裝ノ旨ヲ令ス	九月四日	一
0031	一 辦事五辻安仲權辨事ノ田忠至ヲ遣ヒテ 東幸ノ驛道ヲ檢セシム因リテ事宜教條 ヲ府藩縣ニ告示ス	八月廿日	二
0032	一 東京巡幸中府下ノ市民ヲ戒飾ス	八月廿三日	三
0034	一 東幸發聲期日及沿道ヲ定ム	八月廿八日	四
0035	一 御東幸ニ付駿河以東十三州管内ノ諸侯 伯ニ令シテ各參觀セシム	八月廿九日	五
0036	一 御東幸ノ道筋ヲ定ム	九月五日	六
0040	一 東幸發聲ノ日ヲ定ム	九月十日	七
0058	一 高山縣知事行幸御道筋ハ出頭ス	九月十五日	八
0059	一 東幸期近キニ在ルヲ以テ警守及ヒ扈蹕 ノ公卿諸侯ヲ小御所ニ召見ニ勅シテ之 ヲ戒飾シ酒饌ヲ賜フ	九月廿日	九
0063	一 東幸發聲當日親王公卿諸侯并微士ニ参 賀セシム	九月廿八日	十
0065	一 御出聲供奉ノモノ、心得方ヲ定ム	九月廿九日	十一
0067	一 東幸發聲沿路ヲ定ム	九月三十日	十二
0068	一 東幸沿道、府藩縣ニ令シ式内神社調査 ノ吏員ヲ御泊驛ハ出サシム	七月廿日	十三
0072	一 東幸中外國事務東京ニ於テ處分ス	九月廿日	十四上
0073	一 東幸御發聲御見立トシテ参朝	九月廿九日	十四下
0074	一 東幸中在京諸侯参内ノ日馴ヲ定ム	九月廿日	十五

マイクロ  
コマ番号

0076	一 東幸中在國在邑諸侯重臣ヲシテ禁中ニ 天機ヲ伺ハシム	九月三日	十六
0077	一 東幸中五等官天機伺ノ日ヲ更定ス	十月十日	十七
0078	一 東幸中在國在邑諸侯ノ天機伺ノ日ヲ改 ム	十月廿日	十八
0079	一 秋田藩名代ヲ以テ天機ヲ伺ハン丁ヲ乞 フ	十月廿日	十九
0080	一 東幸中在京諸官ニ書面ヲ以テ天機ヲ伺ハシム	九月廿三日	二十
0082	一 有栖川殿仁親王外四名書ヲ捧テ天機ヲ候ス	九月廿六日	二十一
0083	一 東幸中書面天機伺ノ日ヲ更定ス	九月廿九日	二十二
0084	一 東幸中天機伺ノ日ヲ改ム	十月八日	二十三
0085	一 鳳輦東京著御ノ沿路ヲ改ム	九月廿日	二十四
0086	一 鳳輦著御奉迎場所ヲ定ム	九月廿日	二十五
0087	一 鳳輦著御奉迎衣體ヲ定ム	九月廿日	二十六
0088	一 鳳輦著御奉迎ノ五等官以上ニ衣冠ヲ賜 フ	十月十日	二十七
0089	一 鳳輦著御奉迎場所衣體等ヲ更定ス	九月九日	二十八
0090	一 鳳輦著御沿路ヲ掃除セシム	十月九日	二十九
0091	一 車駕東幸ノ期迫ルヲ以テ鎮將府百官ヲ 戒飾ス明日官公卿諸侯ニ令シテ其臣隸 ヲ戒飾セシム	十月七日	三十
0092	一 東幸ノ聖旨ヲ奉體シ上下ヲシテ盛業ヲ 宣揚セシム	十月八日	三十一
0093	一 横須賀大多喜二藩ニ命シ鳳輦著御ノ沿 路ヲ警衛セシム	十月八日	三十二
0094	一 鎮將府管内ノ中下大夫上士ニ為伺天機	十月九日	三十三

(マイクロ  
リール番号)

- 0095 出府セシム  
一 鳳輦著御拜觀人ニ混雜ナカラシム  
十月一日 三十四
- 0096 一 議定以下鳳輦奉迎場所ヲ定ム  
九月二日 三十五
- 0097 一 鳳輦著御ノ際在京諸官ニ諸事混雜ナカ  
九月九日 三十六
- ラシム
- 0098 一 東幸鹵簿ノ次ヲ定ム  
九月廿日 三十七
- 0108 一 車駕大津驛ヲ發ス本多康頼卯迎ス伊達  
九月廿日 三十八
- 宗城路傍ノ禾莖ヲ摘採シ和歌ヲ副ヘテ  
御覽ニ供ス
- 0110 一 車駕石部驛ヲ發シ土山驛ニ抵ル俟テ妙  
九月廿日 三十九
- 感寺村ニアリ  
言萬里小路藤房ノ墓ヲ祭リ金幣ヲ賜フ  
又府藩縣ニ令シテ沿道掲榜ヲ撤去スル
- 0112 一 車駕土山驛ヲ發シ関驛ニ抵ル石川成之  
九月廿日 四十
- ヲ俾ム是日土山驛ニ抵ル  
卯迎ス
- 0113 一 東幸ノ途関驛ニ於テ加藤恭秋ノ兵隊ヲ  
九月廿日 四十一
- 慰勞ス
- 0114 一 東京ノ途関驛ニ於テ令テ發シ粗暴ノ舉  
九月廿日 四十二
- 動ヲ戒ム
- 0115 一 車駕関驛ヲ發シ四日市驛ニ抵ル途次神  
九月廿日 四十三
- 宮ヲ遙拜ス初ノ車駕過ル所民皆具業ヲ  
俾テ是日沿道府藩縣ニ令シテ營業常ノ  
如クナラシム
- 0117 一 車駕四日市驛ヲ發シ桑名驛ニ抵ル徳川  
九月廿日 四十四
- 徳成藤堂高猷ニ命シテ松平定教臣隸

(マイクロ  
リール番号)

- 0120 姓名ヲ録上セシム  
一 車駕桑名驛ヲ發シ熱田驛ニ抵ル徳川慶  
九月廿日 四十五
- 勝徳川徳成奉迎ス
- 0122 一 天皇熱田神宮ニ詣リ蹕テ熱田驛傍  
九月廿日 四十六
- 關ニ俾テ農事ヲ覽ル輔相岩倉具視綏  
ヲ取リテ御覽ニ供レ徳川慶勝徳川徳成  
和歌ヲ上ル慶勝ニ勅シテ經國治民ノ要  
ヲ奏セシメ又其積勲ヲ賞シテ御衣ヲ賜  
フ是日島海驛ニ抵ル
- 0125 一 車駕島海驛ヲ發シ岡崎驛ニ抵ル松平乗  
九月廿日 四十七
- 秩ノ子乘承奉迎ス
- 0128 一 車駕岡崎驛ヲ發シ吉田驛ニ抵ル  
九月廿日 四十八
- 0129 一 車駕吉田驛ヲ發シ新井驛ニ抵ル是日徳  
九月廿日 四十九
- 川徳成藤堂高猷ニ命シ松平定教及ヒ重  
臣以下伏見ノ事ニ與ル家ニ帰ルヲ許シ  
其監守ヲ解ク
- 0130 一 車駕新井驛ヲ發シ瀧松驛ニ抵ル井上正  
九月廿日 五十
- 直ノ天龍川堤防修築ノ勞ヲ慰ス
- 0131 一 車駕瀧松驛ヲ發シ掛川驛ニ抵ル  
九月廿日 五十一
- 0133 一 車駕掛川驛ヲ發シ藤枝驛ニ抵ル  
九月廿日 五十二
- 0135 一 車駕藤枝驛ヲ發シ江尻驛ニ抵ル是日水  
九月廿日 五十三
- 戸ノ警報行在ニ至ル乃チ長門藩兵ノ從  
衛ヲ罷メテ亟ニ東京ニ赴カシメ肥前藩  
兵ヲ以テ之ニ代フ
- 0138 一 車駕江尻驛ヲ發シ吉原驛ニ抵ル  
九月廿日 五十四
- 0139 一 車駕吉原驛ヲ發シ三島驛ニ抵ル是日徳  
九月廿日 五十五

マイクロ  
リール番号

- 0143 一車駕三島驛ヲ發シ小田原驛ニ抵ル 十月八日 五十六
- 0144 一車駕小田原驛ヲ發シ大磯驛ニ抵ル是日 十月九日 五十七
- 0146 一車駕大磯驛ヲ發シ藤澤驛ニ抵ル 十月十日 五十八
- 0147 一車駕藤澤驛ヲ發シ神奈川驛ニ抵ル是日 十月十日 五十九
- 0150 一車駕神奈川驛ヲ發シ品川驛ニ抵ル 十月十日 六十
- 0151 一車駕東京ニ至ル大総督熾仁親王鎮將三條實美東京知事烏丸光徳等品川ニ奉迎シ三等官以上及ヒ諸侯ハ阪下門外ニ奉迎ス是日江戸城ヲ以テ東幸ノ皇居ト為シ段ノテ東京城ト稱ス 十月十一日 六十一
- 0158 一三等官以上ヲ御前ニ召シ酒饌ヲ賜ヒ恩賜差アリ諸侯及ヒ四等官以下諸兵隊ハ明日ヨリ十六日ニ至ル 十月十四日 六十二
- 0160 一東京市民ニ酒ヲ賜フ 十月廿一日 六十三
- 0165 一水野忠弘其父忠精ト俱ニ駕ニ先ナテ京ニ赴キ公事ニ版センコトヲ請フ既ニシテ前請ヲ申ス之ヲ聽ス 八月十日 六十四
- 0168 一池邊五位等ニ東幸會計御用掛ヲ命ス 八月十七日 六十五

マイクロ  
リール番号

- 0169 一東京先着トシテ土佐中納言ニ海路京ニ抵ラシム 八月廿八日 六十六
- 0170 一東幸前驅ヲ土佐少將ニ命ス 八月廿九日 六十七
- 0171 一土佐少將ノ東幸前驅ヲ罷メ同姓兵之助ヲシテ代ラシム 九月二日 六十八
- 0173 一平野内藏助加藤出雲守ニ東幸供奉トシテ兵ヲ出サシム 八月廿九日 六十九
- 0174 一平野内藏助ノ東幸供奉ヲ改メ女房旅中取締ヲ命ス 八月廿九日 七十
- 0175 一木戸孝允ニ供奉ノ事了ルヲ待テ速ニ帰京セシム 八月廿九日 七十一
- 0176 一加藤恭令在京藩兵ヲ以テ常ニ車駕從衛ニ充テントトヲ請フ聽サス 八月廿四日 七十二
- 0177 一加藤出雲守ニ東幸供奉輔相付ヲ命ス 八月廿九日 七十三
- 0179 一加藤遠江守ニ行幸前驅ヲ命ス 八月廿九日 七十四
- 0180 一因幡中將ニ行幸後驅ヲ命ス 八月廿九日 七十五
- 0181 一水野忠幹井伊直憲安藤直裕土井利教東幸扈從ヲ請フ茲ニ聽サス 八月廿九日 七十六
- 0185 一仙石政固近畿守衛ノ任アリ東幸扈從ヲ請フ得サルヲ以テ別ニ從事スル所アラント請フ聽サス 八月廿九日 七十七
- 0186 一池田中將ノ後驅ヲ罷メ同姓攝津守ニ命ス 九月十日 七十八
- 0187 一池田攝津守及池田侍從ノ行幸後驅ヲ罷メ兵ヲ東京ニ遣リ此在セシム 九月二日 七十九
- 0188 一備前侍從ニ行幸供奉ヲ命ス 八月廿九日 八十

(マイクロ)  
リール番号

- 0190 一 池田丹波守ニ東幸供奉ヲ命シ兵ヲ出シ九月廿四日 八十一  
ヲ宗家ニ附属セシム
- 0192 一 池田丹波守ノ供奉及宗家ニ附属シテ兵九月廿四日 八十二  
ヲ出スヲ罷ム
- 0194 一 長門宰相ニ命シ東幸供奉トシテ兵ヲ出シ九月廿四日 八十三  
サシム
- 0195 一 長門宰相出ス所ノ兵中毎夜御泊所ヲ警九月廿四日 八十四  
衛セシム
- 0196 一 長州阿州西藩ニ命シテ刑法官監察附属九月廿七日 八十五  
役ハ人選擧セシム
- 0197 一 供奉ノ輩ヲ戒メ其家臣等宿驛ノ取締ヲ八月廿九日 八十六  
為ラレム
- 0198 一 東幸ニ際シ柳澤甲斐守ニ輕卒十人ヲ出シ八月廿九日 八十七  
サシム
- 0199 一 東幸沿道宿驛ノ取締方ヲ申令ス九月十四日 八十八
- 0200 一 東幸沿道府藩縣ニ令シ供奉輩ノ旅費期九月十四日 八十九  
等ヲ取計ハレム
- 0201 一 十津川徴士ハ御東幸供奉ヲ命シ道中警九月十四日 九十  
衛セシム
- 0202 一 徵兵一大隊ヲ東京ニ先着セシノ誤地ヲ九月十六日 九十一  
警衛セシム
- 0203 一 供奉公卿諸侯ニ休泊旅費渡方等ノ順序九月十四日 九十二  
ヲ定ム
- 0204 一 沿道宿驛ノ狹隘ナルヨリ自然不便アル九月十六日 九十三  
モ各之ヲ忍ビ供奉セシム
- 0205 一 供奉公卿諸侯ニ東京着御ノ上行在所ニ令九月十四日 九十四

(マイクロ)  
リール番号

- 0206 於テ天機ヲ伺ハシム 九十五  
一 供奉輩ノ徒者ニ帰京ヲ命ス十月廿日
- 0207 一 御東巡ニ付鹿島大官司ヨリ御救大麻ヲ十月廿四日 九十六  
獻上ス
- 0208 一 小松玄蕃頭ニ東京先著山中靜逸ニ御用九月十日 九十七  
掛テ命シ久松隱岐守ニ重臣ヲ以テ供奉  
セシム
- 0209 一 戸田備後守ノ東幸供奉ヲ罷ム九月十四日 九十八
- 0210 一 新五郎ニ東幸御用掛ヲ命ス九月十四日 九十九
- 0211 一 長門宰相阿波中納言ニ命シ藩士數名ヲ九月十四日 百
- 0212 一 井伊右京亮ノ家士ヲ召シ東京御用掛ト九月十六日 百一  
為ス
- 0213 一 徳川三位中将以下數藩ノ士ヲ召シ東幸九月廿七日 百二  
御列御用ヲ命ス
- 0214 一 池邊五位ニ命シ東京ニ先着セシム九月十九日 百三
- 0215 一 東鐵石見介東儀將曹ニ東幸中奏樂御用九月朔日 百四  
ヲ命ス
- 0216 一 親征成績ヲ神官ニ告祭スルカ為メ一旦九月廿七日 百五  
還幸ノ旨ヲ令ス
- 0217 一 函館事件ノ為メ還幸ヲ延期ス九月廿九日 百六
- 0218 一 還幸期日及ヒ沿道旅路ヲ定ム十月朔日 百七
- 0219 一 神官ニ成績告祭ノ期ヲ延引ス十月二日 百八
- 0220 一 箱根通聲ノ際夫役ヲ出ス東幸ノ例ニ倣九月十四日 百九  
ハレム
- 0222 一 還幸沿道ノ府藩縣ニ令シ御用伺ノ者ヲ九月廿日 百十



(マイクロ)  
番号

- 0223 出ス丁東京ノ例ニ依テシム  
一 還幸治道ノ府縣ニ警衛兵ヲ出テシム 十二月廿五年 百十一
- 0226 一 御還幸御道筋ヲ定ム 十二月廿五年 百十二
- 0227 一 還幸ノ當日奉送場所ヲ定ム 十二月廿五年 百十三
- 0228 一 還幸御發轍後諸侯及三等官以上ニ參賀セシム 十二月廿五年 百十四
- 0229 一 鍋島池田丹伊有馬四諸侯ニ令シ還幸ニ上見出ス 十二月廿五年 百十五  
一 關シ鞍馬ヲ撤ス
- 0230 一 還幸奉迎場所等ノ次第ヲ定ム 十二月廿五年 百十六  
一 東臨治道ノ驛次ニ千當金二百兩ヲ下賜 十二月廿五年 百十七
- 0233 一 左國諸侯ノ重臣ニ還幸著御ノ參賀ヲ為サシム 十二月廿五年 百十八
- 0234 一 還幸大津驛發轍 十二月廿五年 百十九
- 0235 一 毛利池田兩家議定一列風聲著御ヲ奉迎セシム 十二月廿五年 百二十
- 0236 一 東京城御發轍廿二日京都御著聲御道中 十二月廿五年 百廿一  
一 記事
- 0240 一 三條右大臣ノ還幸供奉ヲ罷メ暫ク東京ニ殘留セシム 十二月廿五年 百廿二
- 0241 一 萬里小路權右中辨ニ還幸供奉ヲ命ズ 十二月廿五年 百廿三
- 0242 一 龜山縣令江川太郎左衛門還幸御通輦之節供奉ノ事ヲ候ス 十二月廿五年 百廿四
- 0243 一 四條少將ニ徵兵ヲ率ヒテ還幸ノ後衛ヲ為ナシム 十二月廿五年 百廿五
- 0244 一 細川越中守ノ還幸供奉ヲ罷ム 十二月廿五年 百廿六

(マイクロ)  
番号

- 0245 一 蒲原驛狹隘ナルヲ以テ供奉ノ輩ニ心得 十二月廿五年 百廿七  
一 違ナカラシム
- 0246 一 細川中將ニ還幸御押ハテ命ズ 十二月廿五年 百廿八
- 0247 一 伊達中納言東下伺出ト雖モ還幸不日ニ付上京御著聲ヲ待タシム 十二月廿五年 百廿九
- 0248 一 轉國賜暇中ノ伊達中納言ヲ東京ニ徵ス 十二月廿五年 百三十
- 0250 一 京都御著聲在東京公御諸侯等ニ登城參賀セシム 十二月廿五年 百三十一
- 0251 一 長田作兵衛以下四名ノ東幸御用ヲ了ル 十二月廿五年 百三十二  
一 襜シ物ヲ賜フ 十二月廿五年 百三十三
- 0252 一 久留米ノ御東幸ノ節ノ御宮所下賜 十二月廿五年 百三十四

マイクロ  
コマ番号

太政類典第一編第五十一巻索引

宮内

行幸行啓三

- 0260 一 東幸沿道ニ令シ高年ノ者及孝子義僕職元年七月  
業精勵並ニ災害ニ罹ル者等ヲ精査シ概  
リ官吏ノ至ルヲ待テ其旅館ニ上呈セシ  
ム 一上
- 0333 一 東京再幸三月上旬ト定ム 元年七月  
一 再幸途次ヲ東海道ト定ム 元年七月 一、下
- 0334 一 伊勢大廟神拜沿道ノ府藩縣ニ令シ式内元年七月  
神社ヲ調査セシム 三
- 0335 一 再幸發輦期日ヲ定ム 四
- 0336 一 再幸發輦沿路ヲ定ム 元年七月 五
- 0337 一 再幸沿路ノ府藩縣ニ令シ諸事簡易ニシ元年七月  
テ夫役等ヲ減セシム 六
- 0338 一 官堂上在京諸侯ニ令シ發輦ノ際奉送セ元年七月  
シム 七、上
- 0339 一 再幸供奉ノ供連並荷物規則ヲ定ム 二年二月 七、下
- 0341 一 御出輦刻限并御留守中警衛藩々照會 二年三月 八
- 0342 一 官堂上在職ノ諸侯并五等官以上徴士ニ元年七月  
令シ發輦當日奉送場所ヲ定ム 九
- 0343 一 官堂上在京諸侯并五等官以上徴士ノ東元年七月  
幸中天機伺ノ日ヲ定ム 十
- 0344 一 官堂上以下東幸中天機伺ノ日ヲ更定ス 元年七月 十一
- 0345 一 東幸中天機伺ヲ東移スルヲ以テ願伺等 元年七月  
同址ニ差出サシム 十一
- 0346

マイクロ  
コマ番号

- 0348 一 再幸沿路ノ途次ヲ定ム 元年七月 十三
- 0350 一 再幸沿路ノ途次ヲ改正ス 元年七月 十四
- 0352 一 東幸御留守中諸事戒慎ヲ加ヘ遊惰ノ所 元年七月  
業ヲカラシム 十五
- 0353 一 在京諸侯ノ奉送場所ヲ定ム 元年七月 十六
- 0354 一 發輦當日官中ヲ休暇トス 元年七月 十七
- 0355 一 藤堂大學頭以下四名ニ令シ東幸御留守 元年七月  
中一月三回御靜謐ヲ伺ハシム 十八
- 0356 一 神宮拜御ルヲ以テ三等官以上徴士及 元年七月  
在京諸侯ヲ参賀セシム 十九
- 0357 一 京都御發輦 元年七月 二十
- 0358 一 東京著御ノ旨ヲ西京ニ報ス 元年七月 二十一
- 0359 一 車駕東京城ニ著ス官堂上并五等官以上 元年七月  
徴士等ニ令シテ禁中大官御所中官御所  
ハ参賀セシム 元年七月 二十二
- 0360 一 東京著御ノ後官公卿教名ヲ召ス 元年七月 二十三
- 0361 一 東幸御留守中在京中下大夫上士ニ總代 元年七月  
ヲ以テ毎月天機ヲ伺ハシム 二十四
- 0362 一 御著輦御道筋ヲ定ム 元年七月 二十五
- 0363 一 東京著御諸官貞及在京諸侯ノ奉迎順 元年七月  
序ヲ定ム 二十六
- 0365 一 東京著御當日ヲ休暇トス 元年七月 二十七
- 0366 一 御著輦ノ節英國公使御行裝拝見方 元年七月 二十八
- 0367 一 田安中納言御著輦ノ節天兼伺心得方 元年七月  
候ス 二十九
- 0369 一 東幸ノ旨趣ヲ市民ニ諭シ各職業ヲ励マ 元年七月  
ス 三十

マイクロ  
コマ番号

- 0370 一 東京著御奉迎諸侯ノ休憩所ヲ定ム 享青書 三十一
- 0371 一 沿道ノ府藩縣ニ令シ東幸沿路宿驛ノ費ヲ定ム 享青書 三十二
- 用テ調査セシム
- 0372 一 東幸發輦國簿ヲ定ム 二年二月廿日 三十三
- 0390 一 伊勢尾張沿道神社ニ金幣ヲ賜フ 二年三月廿日 三十四
- 0398 一 龜山縣知事御通輦ノ節供奉御守衛等ノ事ヲ聞申ス 二年三月 三十五
- 0399 一 外國人ト行逢心得方ノ儀ニ付西國諸侯著京日時報知ヲ請フ 享青書 三十六
- 0400 一 東幸ノ節驛々ノ設置ノ内侍所撤却ノ事ヲ候ス 二年三月 三十七
- 0401 一 東幸駐輦中府下ノ取締ヲ嚴メセシム 享青書 三十八
- 0402 一 還幸延引ノ旨京都府下ニ令ス 二年三月廿日 三十九
- 0403 一 前田宰相中將ニ供奉ノ後衛ヲ命ス 二年三月廿日 四十
- 0404 一 有馬中將ニ供奉ノ前衛ヲ命ス 二年二月八日 四十一
- 0405 一 有馬中將ノ前驅ヲ罷ノ水官ヲ以テ供奉セシム 二年三月廿日 四十二
- 0406 一 井伊中將ニ供奉ノ前驅ヲ命ス 二年三月廿日 四十三
- 0407 一 加藤能登守ニ内侍所發衛供奉ヲ命シ又井伊中將ニ輔相附屬トシ兵ヲ出サシム 二年三月廿日 四十四
- 0408 一 東幸供奉ノ輦ニ沿道宿驛ノ取締方ヲ諭ス 二年三月廿日 四十五
- 0409 一 伊勢御參拜ノ除供奉ノ内重輕服者ニ憚ラシム 二年三月廿日 四十六
- 0410 一 供奉公御諸侯徽士ニ東京著御翌日天機ヲ伺ハシム 二年三月廿日 四十七

マイクロ  
コマ番号

- 0411 一 徳川三位中將ニ東幸供奉前驅ヲ命ス 享青書 四十九
- 0412 一 大澤右京大夫能勢日向ニ東幸供奉トシ兵ヲ出サシム 二年三月廿日 五十
- 0413 一 兵部卿官及木村三郎西村茂吉ニ東幸供奉ヲ命ス 享青書 五十一
- 0414 一 東幸京都發輦ノ次第ヲ定ム 享青書 五十二
- 0416 一 供奉ノ輦ニ馬飼料ヲ給ス 享青書 五十三
- 0417 一 東幸供奉輦途次ノ荷物ヲ省カシム 二年三月廿日 五十四
- 0418 一 供奉公御諸侯ノ衣冠ヲ定ム 全 五十五
- 0419 一 東幸供奉ノ宿札規則ヲ定ム 全 五十六
- 0420 一 東幸供奉ノ供進并荷物規則ヲ定ム 二年三月 五十七
- 0423 一 東幸供奉ノ輦ニ支度料ヲ下附ス 二年三月廿日 五十八
- 0424 一 東京御滞輦中私用狀并荷物等差出方ヲ定ム 享青書 五十九
- 0426 一 供奉ノ輦ニ支度料及月手當等支給方ヲ定ム 享青書 六十
- 0428 一 東幸沿道ノ御泊驛下陣ノ刑法官監察ノ者ヲ巡視セシム 二年三月廿日 六十一
- 0429 一 旅中人足遣ヒ方ヲ定ム 全 六十二
- 0430 一 供奉ノ輦ニ休暇ヲ賜フ 二年三月廿日 六十三
- 0431 一 堂上諸侯等西京ヨリ召運ノ輿下處分ヲ定ム 二年四月廿日 六十四
- 0432 一 供奉輦ノ私用便差立方ヲ定ム 全 六十五
- 0433 一 供奉ノ者ノ手當給與方ヲ定ム 二年四月廿日 六十六
- 0435 一 徳川三位中將ニ別ニ命スル所アルヲ以テ東幸供奉ヲ罷ム 二年五月廿日 六十七
- 0436 一 前田宰相中將井伊中將及加藤能登守ノ事ヲ伺ハシム 二年三月廿日 六十八

マイクロ  
ニマ番号

0437

供奉ヲ罷ム  
一 供奉ノ者ハ、償渡ノ蒲團期日外ノ令ハ用<sub>奉旨者</sub>  
度司ハ返上セシム  
六十九

0438

一 供奉輩ノ家族東移スルヲ以テ私用状并<sub>奉旨者</sub>  
椅物等ノ差立ヲ廢ス  
七十

0439

一 東行供奉非役ノ輩元官中六等官以下ノ<sub>奉旨者</sub>  
官負月給以後會計官ヨリ直付シ其日制  
ヲ定ム<sub>一期官給</sub>  
一 華頂官ニ二條行幸ノ供奉ヲ命シ其衣休<sub>奉旨者</sub>  
供連等ヲ令ス  
七十一

第一編 五宮 内

一五九

(マイクロ) コマ番号

太政類典第一編第五十二巻索引

宮内

行幸行啓

- 0447 一 加州以下九藩ニ命シ軍艦及蒸汽船ヲ大 慶賀行幸
- 0448 一 阪天保山沖ニ碇泊シ天覽ニ供セシム 元禄四月廿
- 0456 一 大海軍天覽ノ次第ヲ定ム 元禄四月廿
- 0463 一 大坂域中銃陣天覽ノ次第ヲ定ム 元禄四月廿
- 0465 一 供奉諸侯ニ令シ日ヲ刻シテ番次ニ具兵 奉賀四月廿
- 0468 一 車駕加茂川東操練場ニ幸シ東幸扈從諸 奉賀四月廿
- 0470 一 隊ノ練兵ヲ覽ヒ 奉賀四月廿
- 0471 一 島津修理大夫同淡路守ノ出發ニ先シ行 奉賀四月廿
- 0472 一 軍々装ヲ觀覽ニ供ス 奉賀四月廿
- 0473 一 金澤藩蒸氣船ニ艘破損所出來御用ニ應 奉賀四月廿
- 0474 一 シカタキ旨上申 奉賀四月廿
- 0476 一 本丸跡ニ於テ練兵天覽ノ次第ヲ定ム 奉賀四月廿
- 0477 一 薩長両藩ノ練兵天覽ヲ延引ス 奉賀四月廿
- 0478 一 本丸ニ於テ練兵天覽ノ次第ヲ定ム 奉賀四月廿
- 0489 一 練兵天覽先例ニ依ル 奉賀四月廿
- 0490 一 本丸跡練兵天覽 奉賀四月廿
- 0490 一 駒場野練兵天覽 奉賀四月廿
- 0490 一 駒場野練兵天覽ニタイテ練兵天覽 奉賀四月廿

(マイクロ) コマ番号

0498

- 0498 一 兵部省ニ於テ委任官以上ノ面々前日 四月十八
- 0499 一 原兵部大輔總代持戴ノ天杯順流持戴ス 諸隊長ニ亦池田彌一總代持戴ノ天杯順 流持戴ス
- 0501 一 駒場野練兵天覽後酒肴ヲ下賜ス 奉賀四月廿
- 0502 一 親兵天覽延引之旨ヲ令ス 奉賀四月廿
- 0510 一 越中島練兵天覽 奉賀四月廿
- 0511 一 越中島練兵天覽後酒肴ヲ下賜ス 奉賀四月廿
- 0512 一 海軍天覽 奉賀四月廿
- 0513 一 山陵拜御準備ヲ以テ諸人ノ参拜ヲ俾ム 奉賀四月廿
- 0515 一 天皇將ニ山階陵月輪東陵ニ謁セントス 奉賀四月廿
- 0516 一 德島藩ニ山陵拜御ノ供奉ヲ命ス 奉賀四月廿
- 0519 一 山陵拜御ノ期日ヲ令シ尋ラヌ之ヲ延引 奉賀四月廿
- 0520 一 還幸後山陵拜御ノ沿路ヲ定ム 奉賀四月廿
- 0524 一 賀茂上下社ノ行幸 奉賀四月廿
- 0525 一 神祇官副知事等ニ東幸沿路閣宿ヨリ 奉賀四月廿
- 0527 一 日市ニ至ル式内神社ノ代拜ヲ命ス 奉賀四月廿
- 0537 一 天皇群臣ヲ率ヒ神祇官ノ行幸神祇ヲ親 奉賀四月廿
- 0538 一 神祇官行幸ノ次第ヲ定ム 奉賀四月廿
- 0536 一 神祇官行幸例ニ依テ兵部省ヲシテ途次 奉賀四月廿
- 0537 一 警衛セシム 奉賀四月廿
- 0538 一 神武天皇祭典ニ付神祇官ノ行幸 奉賀四月廿
- 0538 一 車駕住吉神社ニ幸ス 奉賀四月廿

マイクロ  
リール番号

0539	一車駕水川社ニ幸ス	皇十月廿	三十四
0547	一車駕再ヒ水川社ニ幸ス	皇閏月廿	三十五
0569	一瀆殿行幸	皇十月廿	三十六
0570	一瀆殿行幸費用支出方ヲ外國官ニ照會ス	皇十月廿	三十七
0572	一車駕再ヒ瀆殿ニ幸ス	皇四月廿	三十八
0573	一瀆殿行幸	皇九月廿	三十九
0574	一横須賀製鐵所行幸	皇九月廿	四十
0576	一瀆殿行幸	皇九月廿	四十一
0577	一瀆殿行幸	皇九月廿	四十二
0578	一集議院行幸	皇九月廿	四十三
0580	一大學ニ臨幸ス	皇九月廿	四十四
0581	一大學九條家ニ行幸ス	皇九月廿	四十五
0583	一大宮山陵御参拜	皇九月廿	四十六
0584	一 大宮山御参拜	皇五月廿	四十七
0585	一 大宮修學院離宮ニ行啓	皇十月廿	四十八
0589	一 皇太后宮修學院村離宮ニ行啓	皇九月廿	四十九
0590	一 皇后東京ニ行啓	皇九月廿	五十
0591	一 皇后東京行啓奉迎トシテ大原正四位ヲ 上京セシム	皇八月廿	五十一
0592	一 五辻少辨ニ皇后東京行啓御用掛ヲ命ズ	皇九月廿	五十二
0593	一 中宮行啓ニ付御道筋為見分五辻少辨東 京出立	皇九月廿	五十三
0594	一 皇后東京行啓期日ヲ定ム	皇九月廿	五十四
0595	一 皇后東京行啓供奉ノ輩ヲ戒ノ沿道不所 為等勿ラシム	皇九月廿	五十五
0597	一 皇后宮東京行啓ニ付出張彈正遠員建言	皇十月	五十六

マイクロ  
リール番号

0600	一 藤澤驛焼失ニ付御宿取ヲ改ム	皇十月九	五十七
0601	一 皇后東京行啓發御後宦華族等ニ参賀セ シム	皇十月廿	五十八
0602	一 皇后京都發御ノ沿路ヲ定ム	皇十月廿	五十九
0603	一 皇后發當日ヲ休暇トス	皇十月廿	六十
0604	一 皇后東京着御沿路ヲ定ム	皇十月廿	六十一
0605	一 皇后着御諸官ニ参賀セシメ祝酒ヲ賜フ	皇十月廿	六十二
0606	一 神奈川縣下御通輦之節外國人取扱方	皇十月	六十三
0607	一 中宮品川御發輦之節祝砲ヲ執行	皇九月廿	六十四
0608	一 通商司為替會社御途中拜礼ヲ請フ	皇十月	六十五
0609	一 皇后着御途次ノ園簿ヲ定ム	皇十月廿	六十六
0616	一 皇后宮御東着ニ付坊城大辨外三名品川 驛ニ奉迎同所ヨリ供奉	皇十月廿	六十七
0617	一 皇后東京着御ノ旨ヲ京師ニ報ス	皇十月廿	六十八
0618	一 后宮御着輦ニ付英國公使祝詞ヲ呈ス	皇十月	六十九
0619	一 姫路藩ニ命シ皇后行啓ノ前衛供奉ヲ為 シム	皇九月廿	七十
0620	一 熊水藩ニ命シ皇后行啓ノ前後警衛ヲ為 サシム	皇九月廿	七十一
0622	一 熊水藩等ノ皇后行啓供奉警衛ヲ罷ム	皇十月廿	七十二
0623	一 姫路藩供奉ノ兵士ニ酒肴ヲ賜フ	皇十月廿	七十三
0624	一 稲葉篤實及熊水藩隊長姫路藩重役ノ行 啓供奉ヲ勞ヒ皇后宮ヨリ物品及酒肴ヲ 賜フ	皇十月廿	七十四
0625	一 皇后宮東京行啓ニ際シ留守長官中御門ノ 經之能ク京都府民ノ動搖ヲ鎮ムルヲ褒	皇十月	七十五

（リール番号）

シ物ヲ賜フ

0626

一 皇后宮東京行啓ニ際シ京都府知事長谷 幸正君  
信篤ノ府民鎮靜ニ盡カセルヲ褒ス

七十六

0627

一 中宮護殿ノ行啓ニ付彈正臺東京府ノ心 三奉賀  
得方

七十七

(マイクロ)  
コマ番号

太政類典第一編第五十三卷索引

0633	一 王政復古ノ旨ヲ後宮ニ傳ヘ且之ヲ戒飾 <small>慶應元年</small>	一
	宮内	
	宮室	
0634	一 東京西城ヲ以テ行宮ト為ス <small>享和元年</small>	二
0635	一 西城行宮ノ稱ヲ止メ之ヲ皇居ト定メ東京城ト稱セシム <small>元治元年</small>	三
0636	一 旧本丸城蹟ニ官殿ヲ造營セシム <small>文久元年</small>	四
0637	一 大宮中宮兩御所及靜寛院官非常御立退 <small>二年八月</small>	五
0638	一 山里御庭西堀へ新橋ヲ架設 <small>三年十月</small>	六
0639	一 吹上新門内玉川上水樋修繕 <small>四年二月</small>	七
0640	一 城中及諸門ノ掃除大藏省ヲシテ管理セシム <small>四年三月</small>	八
0641	一 皇居門内掃除ノ度數ヲ定ム <small>四年四月</small>	九
0642	一 紅葉山ニ女房ノ局ヲ設ク <small>四年五月</small>	十
0643	一 皇后官常御殿御庭ヲ作ル <small>四年五月</small>	十一
0645	一 西丸玄關前渡櫓ニ存置セル古疊及ヒ不障ノ柱ノ由來ヲ調査ス <small>四年五月</small>	十二
0647	一 皇城内菅簾ノ節官員及職人戴帽戴笠ヲ許ス <small>四年五月</small>	十三
0648	一 皇城内下掃除人ヲ定ム <small>四年五月</small>	十四
0654	一 吹上禁苑中掃除中士民ノ拜觀ヲ許ス <small>二年二月</small>	十五
0657	一 吹上禁苑拜觀人中負傷ノモノニ金圓ヲ賜フ <small>二年三月</small>	十六

(マイクロ)  
コマ番号

0666	一 開拓使管下人民皇城御玄關邊ヲ拜觀ス <small>二年八月</small>	十七
0667	一 英國公使東京城及御庭拜覽 <small>二年三月</small>	十八
0668	一 英國寫真師ヒハト一濱殿其外ノ真影ヲ寫ス <small>二年四月</small>	十九
0669	一 濱殿離宮ト延達館トノ分限ヲ定メ離宮ハ宮内省ニ管理セシム <small>二年五月</small>	二十
0672	一 延達館離宮ト出入ノ門ヲ區別セシム <small>二年五月</small>	二十一
0673	一 濱殿ヲ海軍所ト為シ兵部省ニ屬ス <small>二年五月</small>	二十二
0674	一 濱殿ヲ再ヒ宮内省ニ屬ス <small>二年五月</small>	二十三
0675	一 野内見張番所ノ番人ヲ廢シ門番ヲシテ洒掃等ニ注意セシム <small>二年五月</small>	二十四
0677	一 彈正臺ヲシテ諸見附ヲ巡察セシム <small>二年五月</small>	二十五
0678	一 半藏御庭口御門吹上植木御門ニ從前ノ如ク番兵ヲ置ク <small>二年五月</small>	二十六
0679	一 諸御門等常番ヲ廢ス <small>二年五月</small>	二十七
0680	一 神田橋ヨリ相生橋ノ間ニ閘門ヲ置ク <small>二年五月</small>	二十八
0681	一 東京府取締巡邏ノ除印鑑肩章ニテ燈諸門ヲ通行セシム <small>二年五月</small>	二十九
0682	一 清水田安竹橋三門ヲ閉鎖ス <small>二年五月</small>	三十
0683	一 竹橋短子橋清水田安半藏ノ五門ヲ閉ク <small>二年五月</small>	三十一
0686	一 大手渡櫓修繕中通行ヲ止ム <small>二年五月</small>	三十二
0687	一 半藏外四門ノ渡櫓等毀撤ノ處分 <small>二年五月</small>	三十三
0688	一 田安清水兩門内菅簾中通行ヲ止ム <small>二年五月</small>	三十四
0689	一 大手坂下兩門通行人名録違違方ヲ候ス <small>二年五月</small>	三十五
0690	一 半藏門渡櫓撤却中通行ヲ止ム <small>二年五月</small>	三十六
0691	一 半藏門通行ノ停止ヲ解ク <small>二年五月</small>	三十七



マイクロ  
フィルム  
番号

0692	赤坂門櫓撤却中通行、傳ハ	昭和四年	三十八
0693	一 准后新殿造立國役金不納、者ニ上納セ	昭和五年	三十九
0697	一 有志、者ニ御厩馬場ヲ貸與ス	昭和二年	四十
0698	一 堂上非藏人等ニ御厩馬場、架馬ヲ許ス	昭和五年	四十一
0699	一 恭明官造管御用撤、命ス	昭和四年	四十二
0700	一 恭明官造管	昭和四年	四十三
0704	一 御池庭端ノ文庫ヲ宮内省ニ付ス	昭和四年	四十四
0705	一 神嘉殿西穴門外木柵其外修繕	昭和四年	四十五
0706	一 蛤御門番所修繕	昭和四年	四十六
0707	一 花御殿屋根其外修繕	昭和四年	四十七
0708	一 御春屋内ヲ修繕ス	昭和四年	四十八
0709	一 今出川口御門番所并戸修繕	昭和四年	四十九
0710	一 皇后官御所御軍寄續公卿ノ間其外屋根 修繕	昭和五年	五十
0711	一 紫宸殿以下官殿修繕、管理方ヲ定ム	昭和五年	五十一
0712	一 後院清水御文庫榎架設	昭和五年	五十二
	一 幕府大官御所御造立ニ付國役金收納方 ヲ稟候スハ内事門程古始未一 條稟候中ニアリ		五十三
	一 幕府再ヒ同上ノ國役金賦課ノ令達方ヲ 稟候ス同上外國軍事等 稟候ノ中ニアリ		五十四